

## 1 定例監査

平成27年は、平成26年度の事業執行分について監査を実施し、指摘事項111件、意見・要望事項4件を行いました。

指摘事項等115件を類型別に整理すると、表のとおりです。

### ● 類型別件数内訳

類型	件数	主な内容
歳入（都税）	10件	土地の評価を適正に行うよう求めたもの
歳入（その他）	19件	債権管理を適正に行うよう求めたもの 現金取扱の業務手順を具体的に定めるよう求めたもの
歳出	64件	不備が見つかった消防用設備の速やかな修繕を求めたもの デジタル化した資料の有効活用を求めたもの
財産	2件	不用品を台帳から削除するよう求めたもの
その他	20件	指定管理者が保有する個人情報に適切に取り扱うよう局が管理者に指示することを求めたもの
合計	115件	

監査を行うに当たっては、都政を取り巻く状況を踏まえ、都民の関心が高い事項やリスクの高い事項などを「重点監査事項」として設定することで、効率的な監査に努めています。

## 重点監査事項

### テーマ：工事契約に係る価格情報管理

#### ○目的

平成26年度に発覚した水道局職員による最低制限価格に係る情報漏えい事件を受け、再発抑止の観点から全庁を対象に設定しました。

#### ○結果

工事契約に係る価格情報は概ね適切に管理されていたものの、電子ファイルの管理等について、6局に対し、6件の是正すべき事項が認められたため、改善を求めました。

※このほか、「事業実施部門の外部委託」や「債権管理」など、各局の事業に応じて局ごとの重点監査事項も設定しています。

## 主な指摘事項

工事の設計書作成のために構築したシステムを活用していなかったもの

[類型：その他 観点：有効性]

都市整備局

### 状況

都市整備局では、住宅建設事務所が起工する建築工事と設備工事の設計書作成のためにシステムを構築していましたが、建築工事ではシステムが運用されて以来、活用していませんでした。

### 指摘

局に対し、事務所の実情を分析の上、システムの活用について検討を求めました。

価格情報に係る電子ファイルの管理等が不適切であったもの

[類型：その他 観点：合规性]

総務局、生活文化局、都市整備局、中央卸売市場、建設局、交通局

### 状況

工事の積算内容は、入札における予定価格や最低制限価格の算定の基礎となるため、開札終了までの間、関係者以外の者に知られないよう厳格に管理する必要があります。

しかしながら、積算内容を記録した電子ファイルにパスワードを設定しないまま共有フォルダに保存するなど、関係者以外の者が閲覧できる状況となっていました。

### 指摘

価格情報に係る漏えいリスク低減の観点から、工事契約に係る価格情報管理を適切に行う必要があります。

各局に対し、電子ファイルの管理方法を見直すなど、価格情報管理を適切に行うよう求めました。

### ◎ 東京都財務諸表について

東京都では、平成18年4月から複式簿記・発生主義会計の考え方を取り入れた新たな公会計制度を導入し、東京都財務諸表を作成・公表しています。

東京都監査委員は、定例監査において、この財務諸表についても監査を行っています。

この結果、平成26年度東京都財務諸表は、東京都会計基準に準拠して作成されているものと認められました。